

手続きのながれ③で準備する必要書類

給付奨学金の必要書類には★
貸与奨学金の必要書類には◆

- ① ★◆【全員】確認書（同意書）
- ② ★◆【該当者】成績に関する書類
- ③ ★◆【全員】学生本人名義の銀行口座の通帳コピー
- ④ ◆【全員】収入状況欄・収入計算欄
- ⑤ ◆【該当者】収入に関する証明書類
- ⑥ ◆【該当者】Ⅲ.特別控除に関する証明書類
- ⑦ ★◆【全員】スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与併用申込み）用】
- ⑧ ★【該当者】自宅外通学を証明する書類（コピー可）
- ⑨ ★【全員】令和2年度 高等教育修学支援制度授業料等返還用銀行口座振込依頼書
- ⑩ ★【全員】大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書（A様式I）
- ⑪ ★【全員】大学等への修学支援の措置に係る学修計画書
- ⑫ ★【該当者】2019年度課税証明書（コピー可）
- ⑬ ★◆【該当者】在留資格及び在留期間が明記されている証明書
- ⑭ ★◆【該当者】施設等在籍証明書等

※書類番号は「手続きのながれ」に記載の必要書類の番号と連動

⑦ ★ ◆ 【全員】 スカラネット入力下書き用紙

※下書き用紙に表示している内容は2020年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります

2020年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与併用申込み）用】

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。
スカラネット入力画面には、給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類により表示される設問が異なります。表示された設問について入力してください。

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「奨学金を希望する皆さんへ」（以下「奨学金案内」）を熟読し、申込内容を保護者（親権者又は法定代理人）と相談して決めてください。「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを確認した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどして、保管してから「送信」ボタンを押してください。なお、「送信」ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

氏名	学籍番号	学部・学科・分類	<small>入力が済んだ欄は印刷できず、印刷の際に必ず正しい印刷データを入力してください。</small>
奨付番号			<small>入力が済んだ「奨付番号」欄は印刷できず、印刷の際に必ず正しい印刷データを入力してください。</small>

【スカラネット入力の際に、手元を用意する書類】
以下の書類は、必ず手元を用意してください。
学校から受け取った奨付番号（ユーザーIDとパスワード）
奨学金申込口座（本人名義）の通帳などのコピー（※必ず「印」ページに貼り付けてください）
マイナンバーカード

スカラネット用ホームページアドレス（URL） <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間 8：00～25：00（最終締切日の受付時間は8：00～24：00）
※受付時間を過ぎると画面が強制的に終了します。余裕をもって入力できるよう、入力開始時間には注意してください。（入力時間の目安：30分～1時間）

【スカラネット入力内容入力欄】
※インターネットで申し込みの際は、「給付奨学金案内」19ページ「文字入力」を参照して文字を入力してください。

ログイン お手持の奨付番号（ユーザーID）とパスワードを入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。 ※ログインIDとパスワードは必ず「学校から受け取った書類」を参照してください。	<small>ログインIDはスカラネット入力画面に表示され、パスワードは入力できません。ログインIDとパスワードは必ず「学校から受け取った書類」を参照してください。</small>
「奨学金案内」の提出 ※本学事務課で提出した書類が承認された場合は、「奨学金案内」を提出した書類を提出した書類として提出してください。 ※提出した書類が承認された場合は、「奨学金案内」を提出した書類として提出してください。 ※提出した書類が承認された場合は、「奨学金案内」を提出した書類として提出してください。	<small>「奨学金案内」を提出した書類が承認された場合は、「奨学金案内」を提出した書類として提出してください。</small>
奨付番号の提出 ※奨付番号の提出は、必ず「学校から受け取った書類」を参照してください。 ※奨付番号の提出は、必ず「学校から受け取った書類」を参照してください。	<small>奨付番号の提出は、必ず「学校から受け取った書類」を参照してください。</small>
奨付番号の提出 ※奨付番号の提出は、必ず「学校から受け取った書類」を参照してください。 ※奨付番号の提出は、必ず「学校から受け取った書類」を参照してください。	<small>奨付番号の提出は、必ず「学校から受け取った書類」を参照してください。</small>

すべて記入してください。

記入方法を、抜粋して次のページから説明します。

1ページ目で説明しました「給付奨学金」のみ申し込む場合で記入必要のない項目には「貸与奨学金記入項目」と記載します。

⑦ ★◆ スカラネット入力下書き用紙 1 ページ目

※下書き用紙に表示している内容は2020年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2020年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与併用申込み）用】

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。
スカラネット入力画面には、給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類により表示される設問が異なります。表示された設問について入力してください。

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「奨学金を希望する皆さんへ」（以下「奨学金案内」）を熟読し、申込内容を保護者（親権者又は未成年後見人）と相談して決めてください。「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを確認した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力完了後、「奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどして、保管してから「送信」ボタンを押してください。なお、「送信」ボタンを押した後、内容を訂正することはできません。

氏 名	学籍番号	学部・学科・分野

入学の際に必要な項目です。学籍番号の担当も必ず正しい名称を正確に入力してください。

						-														
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

入力完了後、「送信」ボタンを押した後に、奨付番号が画面に表示されます。マイナンバー提出書にも記入する必要がありますので、必ず記入しておいてください。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

以下の3点は、必ず手元に用意してください。

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザーIDとパスワード）
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）
- ・マイナンバー提出書

こちらだけ記入

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 2 ページ目

奨学金学種（学校）の選択

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

大学 ▼

課程を選択してください。

大学の場合の表示例

<奨学金学種（学校）の選択>

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

大学 ▼

申込み奨学金 (1) , (2) または (3) を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（1次又は2次）

- 現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。
家計急変が生じたことにより、給付奨学金を申込みの場合は、こちらを選択してください。

(2) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金のみ）

- 過去1年以内に生計を維持している人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込みことができます。
学校で申込資格を確認してください。家計急変が生じたことにより、給付奨学金を申込みの場合は、「(1) 定期採用（1次又は2次）」を選択してください。

(3) 第二種奨学金（短期留学）

- 国内の学校等に在籍中に海外の大学等へ短期留学する人は申込みことができます。
現在、日本学生支援機構の他の奨学金を貸与中の場合は、その奨学金の採用年度によって申込の条件が異なります。学校で申込資格を確認してください。

課程を選択すると、申込み奨学金を選択する画面が表示されます。
※この「下書き用紙」及び「給付奨学金案内」では、(1) を選択した場合について説明しています。

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 2 ページ目

手続きのながれ④で受け取る「マイナンバー提出書」に印字されているIDとパスワードを記入しますので、今は未記入で結構です。

マイナンバー提出書情報

「マイナンバー提出書」に印字されている申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。

注1) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

注2) 「マイナンバー提出書」についての注意事項

- ◆奨学金の申込みには、あなたとあなたの生計維持者（原則父母）のマイナンバーの届出が必要です。
- ◆「マイナンバー提出書」の提出先は学校ではありません。指定の送付先（日本学生支援機構）へあなたから直接送付してください。
- ◆この申込入力が完了した後は、「マイナンバー提出書」に必要な事項を記入し必要な証明書類とあわせて、専用封筒を使って速やかに（この申込入力後1週間以内に）送付（提出）してください。

※マイナンバー提出書の見本を表示します。

見本を表示

申込ID

パスワード

パスワードはスカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初に申込ID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。なお、あなたのマイナンバー（個人番号）そのものはスカラネットには入力しません。この「下書き用紙」にもマイナンバー提出書に印字されている申込IDとパスワードだけを記入し、あなたのマイナンバー（個人番号）そのものは決して記入しないようにしてください。

マイナンバー提出書類の提出が遅れると採用が大幅に遅れたり、採用できなくなったりする場合があります。スカラネット入力後1週間以内に郵送できるよう、必要な書類は事前に田舎してください。（マイナンバー

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 3 ページ目

B-誓約欄
 日本学生支援機構理事長 敬
 私は貴校奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「給付奨学金申込書」及び「給付奨学金申込書」に基づき、奨学金に採用決定後は速やかに貸与が完了し、または給付に返還の義務が生じた場合には滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 年 月 日
 (半角数字)

生年月日の入力をお願いします。正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。
 生年月日 年 月 日生

<参考>

和暦	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14
西暦	1993	1994	1995	1996						

国籍 日本国籍 日本国籍以外
 国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を指定してください。
 ※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
 ※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は在留期間(満了日)の入力は不要です。

在留資格

在留期間(満了日) 西暦(半角数字4桁) 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 はい いいえ
 ※誓約日は以後訂正することができません。

◆給付奨学金支援区分の情報提供の確認◆
 あなたが給付奨学金を申込む場合は、あなたの給付奨学金における審査結果(支給額の割合に関する情報)を
 同意します

◆◆
 あなたが第一種奨学金(奨励型、無利子)と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用して受ける場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整(減額または増額)される場合があります。調整の結果、借入金額が増額となる場合は、別途届出が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、欄の定めるところにしがし調整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等
 必要です。
 [2. 貸与奨学金(月額)：第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)]を希望しますか。で「希望します」を選択すると表示されます。「貸与奨学金案内」をよく確認し、希望するものを選択してください。

国籍を2択で選択し、日本国籍以外の場合は在留資格情報を記入

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 3 ページ目

「給付奨学金」の希望の有無を選択

「貸与奨学金」の希望の有無を選択

貸与奨学金の希望した方は
1 1点の選択肢の中から
1 点だけを選択します。

2/8
C-奨学金申込情報

大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程の場合

1. 給付奨学金を希望しますか。
希望します
希望しません
※給付奨学金の対象者は、進学先の大学等において別途手続きをすることで授業料や入学金の減免を受けられます。
 参考：給付月額一覧 (PDF)

2. 貸与奨学金 (月額：第一種奨学金 (無利子)、第二種奨学金 (有利子)) を希望しますか。
希望します
希望しません
 あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。
 (a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。
 (1) 第一種奨学金のみ希望します。
 (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
 (3) 第二種奨学金のみ希望します。
 (b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。
 (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
 (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。
 (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
 (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。
 (c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。
 (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
 (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
 (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 上記 (8)、(9)、(10)、(11) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号
 (半角数字) (例: 820 04 999999)

【(8)～(11)を選択する人へ】
 別に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中の人、予約採用者、又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学による第二種奨学金を継続する人で、(8)～(11)を希望する場合は、下記のとおり選択・入力してください。
 (併用奨学金案内)も参照してください。
 第二種→第一種の変更又は第一種→第二種の変更を希望
 ・変更前の奨学生番号が決定している場合は (8) 又は (9) を選択し、下の奨学生番号欄に決定している奨学生番号を入力する。
 ・変更前の奨学生番号が未決定の場合は (a) の (1) 又は (3) を選択し、別途 [変更希望] であることを学校担当者へ申し出る。
 第一種又は第二種→併用貸与の変更を希望 (併用貸与の学力、家計基準を満たすことが必要です)。
 ・(10) 又は (11) を選択し、変更前の奨学生番号が決定している場合は下の奨学生番号欄に決定している奨学生番号を入力する。変更前の奨学生番号が未決定の場合は、奨学生番号を入力せず次に進む。
 ※希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与中の奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更を希望する場合は、学校担当者へ申し出てください。
 (例) 現在第一種を貸与中であり、今回の申込みで併用貸与への変更を希望するが、併用貸与が不採用だった場合には第二種への変更を希望する。

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 4 ページ目

D-あなたの在学情報		大学の場合
1. 学校		
(1) あなたの学校名を確認してください。	日本大学	(1) ×× 大学
(2) あなたの学籍番号を記入してください。(2) (半角英数字記号)	学生番号	
(3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。(3)	芸術学部	
(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。		
(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。	(4) <input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> 専攻科 <input type="radio"/> 別科
(5) 学年を記入してください。	(5) (半角数字)	1 ~ 4 学年
(6) 昼夜課程を選択してください。	(6) <input checked="" type="radio"/> 昼 (昼夜開講含む)	<input type="radio"/> 夜 <input type="radio"/> 通年スクーリング <input type="radio"/> 昼間スクーリング

以上の文字を入力することからできません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示にしたがってください。

(4) 専修学校は、「あなたは上級学科に在学していますか。」という設問が表示されます。学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

(5) 次のページに掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた実質学年を入力してください。編入の場合は編入した学年を入力してください。
(例)
○2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
○3年次編入→3学年

⑦ ★◆ スカラネット入力下書き用紙 4 ページ目

**①～③該当するものを選択し
入学年月等を記入**

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

○①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
→入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

○②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下の3つの年月を全て記入してください)
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月:

西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:

西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月:

西暦(半角数字4桁) 年 月

○③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください)

【1回目の編入学】
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月:

西暦(半角数字4桁) 年 月

→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:

西暦(半角数字4桁) 年 月

→2回目の学校へ編入学又は転学した年月:

西暦(半角数字4桁) 年 月

【2回目の編入学】
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:

西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月:

西暦(半角数字4桁) 年 月

短期大学及び高等専門学校の人は、以下のとおり設問が変更になります。この設問において、あなたが在籍している専攻科が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科の一覧表」で確認し、「はい」又は「いいえ」を選択してください。(「いいえ」を選択した場合、給付奨学金の支援対象外です。)

(4) あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。 はい いいえ

上記で「はい」と答えた人にお聞かせします。

あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。

はい いいえ

認定専攻科の一覧表(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構のページヘリンク)(PDF)

(6) 通学課程の学生は「昼(昼夜間併含む)」又は「夜」を選択してください。(高等専門学校の場合、この設問は表示されません。)

(7) ①～③から該当する1つを選択してください。

編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。

(例)
2018年4月にA短期大学に入学。2020年3月にA短期大学卒業後、2020年4月にB大学の3年次に編入学

・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月

: 2018年4月(A短期大学の入学年月)

・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月

: 2020年3月(A短期大学の卒業年月)

・現在通っている学校へ編入学又は転学した年月

: 2020年4月(B大学へ編入学した年月)

短期大学又は高等専門学校の認定専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する設問が表示されます。

・専攻科に入学する前に通っていた学校へ入学した年月

・専攻科に入学する前に通っていた学校に在籍していた最終年月

・専攻科に入学した年月

高等専門学校から編入学、転学又は専攻科に入学した場合、前に在学していた学校の入学年月には高等専門学校の4年次に進級した年月を入力してください。

高等専門学校の場合は、以下のとおり設問が変更になります。

(6) あなたの入学年月を記入してください。
西暦(半角数字4桁) 年 月

(7) 現在通っている学校の4年次へ進級した年月を記入してください。
西暦(半角数字4桁) 年 月

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 4 ページ目

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。

(8) 西暦 (半角数字 4 桁) 年 月卒業 予定

(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。

(9) (半角数字) 年 か月

<入学・卒業予定年月早見表>

2020年4月現在 1年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2020/4	2022/3
3年		2023/3
4年		2024/3
5年		2025/3
6年		2026/3

2020年4月現在 2年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2019/4	2021/3
3年		2022/3
4年		2023/3
5年		2024/3
6年		2025/3

2020年4月現在 3年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年	2018/4	2021/3
4年		2022/3
5年		2023/3
6年		2024/3

2020年4月現在 4年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
4年	2017/4	2021/3
5年		2022/3
6年		2023/3

1年生 2024年3月
2年生 2023年3月
3年生 2022年3月
4年生 2021年3月

月にたりよりか、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください (左に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください)。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

参考

(9)「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。
 ※現時点からあと何年通うかという意味ではありません。入力間違いをしないよう注意してください。

(例)

- 4年課程の3年次に在学 (編入) する人の修業年限は4年。
- 2年課程に在学し、1年次の途中で申し込む人の修業年限は2年 (1.5年ではありません)。

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 5 ページ目

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。
 ※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

(郵便番号) (半角数字)

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

日芸のキャンパスの住所を記入

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学する場合は、「自宅」を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとを離れて通学する場合は、学校までの通学距離・時間等に問わず「自宅外」を選択し、下記設問にて⑤及び「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に「施設等・里親等のもとを離れて生活している」旨を入力してください。

※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合は、生計維持者(原則父母)と別居しており、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していることの証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)の提出が必要です。

い場合は郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。
 「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
 ※9ページの「住所の入力例」参照

2020年4月時点(秋以降に募集があり、奨学金を申し込む場合は2020年10月時点)での状況に基づき選択してください。自宅外通学を選択する場合は、自宅外である証明書類の提出が必要となります。

どちらかを選択 → 自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

自宅外通学を選択した人は該当するもの全てを選択

上記で「自宅外通学」を選択した人におきます。「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するもの全てを選択してください。いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択し直してください。

- ①実家(生計維持者いずれもの住所) から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
- ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
- ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
- ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択した場合は、入力不要です(ボタンを押すことができません)。

上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。

支障が生じる 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

・「自宅外通学」を選択した場合は入力が必要になります。2020年4月時点(秋以降に募集があり、奨学金を申し込む場合は2020年10月時点)から現在までお住まいの住所を入力してください。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択し、アドレス欄に「住所2」には、「住所1」

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

(郵便番号) (半角数字)

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

自宅外通学の住所を記入

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 6 ページ目

E-奨学金給付額情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込分からの支給の停止を希望しますか。
はい いいえ

「はい」と答えた人は、停止理由を選択してください。

2020年4月1日時点で休学中であるため（2020年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続が必要です。）

他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため

その他

(2) あなたは、2020年4月以降、以下の支援を受ける予定が有りますか。（ハローワークや役所からあなた本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください。）

※2020年4月以降、以下の留意点による支援を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。

- 教育訓練支援給付金【雇用奨励法】

- 訓練延長給付、技能習得手当（奨励手当、適格手当）、研修手当【雇用奨励法】

- 職業訓練受給給付金【職業訓練の実施等による特定求職者の訓練の支援に関する法律】

- 高等職業訓練促進給付金（ひとり親家庭の親を対象とする給付金）【母子及び父子並びに寡婦福祉法】

- 職業訓練給付金<訓練手当>【労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】

支援を受けておらず受ける予定もない

支援を受けている
受給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 - 年 月

支援を受ける予定である
受給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 - 年 月

留意の一覧表（文部科学省ホームページへリンク）（PDF）
※申告漏れの場合、給付奨学金の全額返金を求めることがあります。

以下の特別な事情がない限り、「いいえ」を選択

- ・ 2020年4月1日時点で休学中
- ・ 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められない

このグレーの欄の種類の給付金を受ける予定がなければ、「支援を受けておらず受ける予定もない」を選択

(3) として、家族会費が生じたことによる給付奨学金の申込みに関する期間が表示されます。定期採用で申し込む場合は、「いいえ」を選択した状態で次に進んでください。

給付奨学金のみ希望する人は、入力の必要はありません。

入学年度によって、適用される賞与月額が異なります。

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 6 ページ目

入学年度（入力した入学年月）により選択できる月額が異なります

F-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに教えてください。
 - (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

2018年以降入学者は

この欄から選択

[2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額]

区分 月額の種別	大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額 以外の月額		4万円	4万円	5万円		4万円	4万円	4万円
	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

第一種奨学金の月額選択

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に教えてください。

貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。

条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

最高月額が採用にならなかった場合の
第二希望金額を選択

5

なります。
また、専修学校（専門課程）のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されず、プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしている必要があります。
それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は「奨学金案内」の6ページを参照してください。

春の定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2020年4月となります（入学年度によりません）。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます（入学年度によりません）。

最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上表の最高月額以外の月額から選択してください。

⑦ ★◆ スカラネット入力下書き用紙 7 ページ目

「貸与奨学金記入項目」

2017年以前入学者は
この欄から選択

入学年度（入力した入学年月）により選

→ [2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与項目]

大学				短期大学・専修学校（4・5年制）				高等専門学校（4・5年生）			
国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
3万円				3万円				3万円			

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください

「貸与奨学金案内」 17 ページ参照

希望する人は、返還方式を選択する際は、「貸与奨学金案内」を確認のうえ、どちらかを選択してください。

(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

返還方式を選択

(2) 所得連動返還方式 定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3) はい いいえ

過去に同じ学種で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

第一種奨学金の再貸与制度とは？
過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学種（大学、短期大学、高等専門学校、専修学校）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。詳しくは「貸与奨学金案内」を参照してください。

F-奨学金貸与額情報 直上の(3)で「はい」と答えた人に表示されます。

今までに同学種で第一種を貸与したことがある場合は「はい」

奨学生番号（半角数字）

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。

(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。 同意します

(4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。 (4) はい いいえ

「地方創生枠推薦者」とは、地方公共団体と地元産業界が協力し、将来の地域産業の担い手となる学生等を応援する取組みとして、基金を設置した地方公共団体（基金設置団体）から推薦された人です。各都道府県において100名を上限として推薦されています。

「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。 (半角数字)

月額が異なります

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 7 ページ目

第二種の月額を選択

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに教えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

(2) はい いいえ

「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。

あなたは（医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。

(3) 4万円 2万円 希望しない

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

(4) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

(4) 西暦（半角数字4桁） 年 月

基金設置団体から「地方創生枠」としての推薦を受けていない人は、「いいえ」を選択して次に進んでください。

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

(2) (3) は医・歯・薬・獣医学の増額に関する入力項目です。

併用貸与を希望した人に表示されます。

併用貸与については、「貸与奨学金案内」を参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

春の定期採用に申込みする人は、2020年4～9月のいずれかの月を入力してください。次の設問3. で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2020年4月を入力してください。

2020年4月～9月のいずれかの月を選択

⑦ ★◆ スカラネット入力下書き用紙 7ページ目

「貸与奨学金記入項目」

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。
1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) はい いいえ

(2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) 10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) 利率固定方式 利率見直し方式

7

**1年生と編入学の人のみ選択
「貸与奨学金案内」10・11ページ参照**

そのため、すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。
編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。
なお、入学時特別増額貸与奨学金は、「国の教育ローン」を利用できない人を対象としており、第二種奨学金と同様に有利子です。「貸与奨学金案内」を参照してください。

返還時の利率の算定方法を選択する項目です。詳しくは「貸与奨学金案内」を参照してください。

**第二種奨学金と入学時特別増額奨学金を希望する人
のみ選択「貸与奨学金案内」15ページ参照**